

KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

U515

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	10
USBデバイスについて	11

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Basic Operation	12
共通操作	12
CDやオーディオファイルを聴く	14
ラジオを聴く	16

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Radio Listening	18
オートメモリー	18
マニュアルメモリー	18
チューニングモード	19
モノラルモード	19

CD & Audio file Listening 20

ディスク/フォルダサーチ	20
ランダムプレイ	20
マガジンランダムプレイ	20
オールランダムプレイ	20
スキャンプレイ	21
タイトル/テキストスクロール	21
リピートプレイ	21
セレクトモード	22
ファイルセレクト	22
フォルダセレクト1	23
フォルダセレクト2	23

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Audio Control	24
イコライザーカーブの呼び出し	24
スピーカー設定	24
オーディオセットアップ	25

Display Control	26
ディスプレイ表示切り替え	26
パネルの取り外し	27
パネルの取り付け	27

Menu	28
メニュー設定	28
セキュリティコードの設定	30
セキュリティコードの入力	31
セキュリティコードのクリア	31
時刻合わせ	32
AUXネーム選択	33

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い
USBデバイスについて

Basic Operation

Radio Listening

CD & Audio file Listening

Audio Control

Display Control

Menu

Help?

取り付け時のご注意
接続
取り付け

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? Audio file	34
オーディオファイル	34
Help? Troubleshooting	36
共通	36
ミュージックディスク	36
オーディオファイル	38
AUXネームセット	39
USBデバイス	39
Menu	39
Help? Term	40
共通	40
オーディオコントロール	40
Menu	40
Help? Error	42

取り付け時のご注意	44
接続	46
取り付け	48

保証とアフターサービス	49
仕様一覧	50

「オーディオファイル」とは？

本書に書かれている「オーディオファイル」や「Audio file」とは、USBデバイスやCD-R/RWに記録されたAAC、MP3、WMAファイルのことです。詳しくは「オーディオファイル」(p34)をご覧ください。

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



上へ



下へ

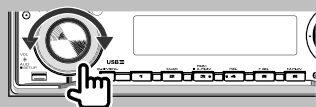


左へ



右へ

また、ボリュームを回す操作は下の図で表します。

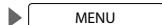
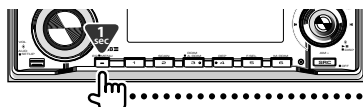


- ▼：次の段に続きます。
- ：ここで終わります。

チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。
チューニングモードには、次の3種類があります。

1 メニューモードにします

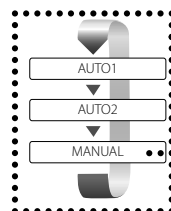


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

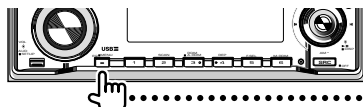
2 チューニングモードの項目を選択します



3 チューニングモードを選びます




4 メニューモードを終了します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

1 秒以上押す

 で示したボタンまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。左記では1秒間押すことを示しています。押す秒数は矢印の中の表示を目安にしてください。

ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

ディスプレイ表示**その他のマーク**

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。




特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

短く押す

 で示したボタンをチョンと押す。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is trademark of Dolby Laboratories.

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

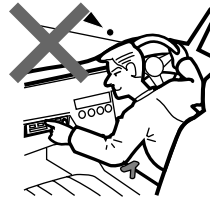
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSBデバイスの取り付け・取り出しなど）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

USBデバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**禁止**

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

注意

**禁止**

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

**禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

**実施**

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「USBデバイスについて」(p11)を参照してください。

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できる機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

"O-N"スイッチの付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDスイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p46)および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用できるリモコンについて

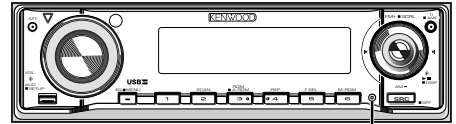
本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p36)および「Help? Error」(p42)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押す前に、USBデバイスを取り外してください。

USBデバイスを取り付けたままリセットボタンを押すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。USBデバイスの取り外しかたは「USBデバイスを取り外します」(p15)をご覧ください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX EXT"と表示される。
- KCA-S210A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに"AUX EXT"と表示される。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの付いていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

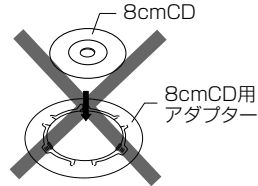
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-RやCD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

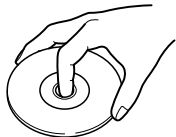
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

メディアの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることがありま
す。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。
取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージな
ども書かれています。それらの注意事項も読んでから
使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープな
どを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノ
リがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いに
ならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると
CDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



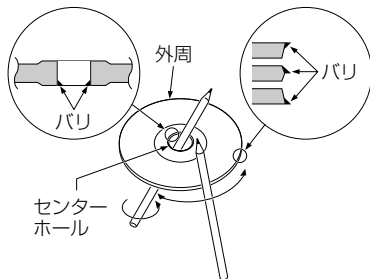
CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-RやCD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間
放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、
ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入
れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しない
でください。

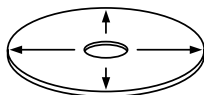
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周
部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかつ
たり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、
ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



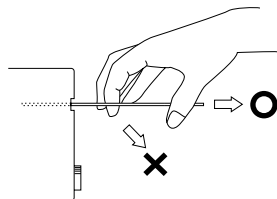
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔ら
かい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふ
き取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナー
やベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでくださ
い。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してく
ださい。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付
ける原因となります。



USBデバイスについて

本機では、USB端子を持つフラッシュメモリーやデジタルオーディオプレーヤー（本書ではこれらを総称して「USBデバイス」と呼んでいます）に記録されているオーディオファイルをプレイできます。ただし、使用できるUSBデバイスの種類や使用方法には以下のような制限があります。

使用できるUSBデバイス

- 「USBマストレージクラス」のUSBデバイス
- 最大消費電流が「500mA」以下のUSBデバイス
対応フォーマットや詳細な対応機器については
URL： <http://www.kenwood.com/usb/> をご覧ください。



- 「USBマストレージクラス」
特別なドライバーやアプリケーションソフトを使用せずに、外部ストレージとしてPCが認識できるUSBデバイスです。
- 使用するUSBデバイスがUSBマストレージクラス規格に対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
- 上記外のUSBデバイスを使用すると、オーディオファイルのプレイや表示が正常にできないことがあります。
また、上記規格に準拠したUSBデバイスを使用しているも、USBデバイスの種類やコンディションなどにより、正常にプレイできない場合があります。

USBデバイスの延長接続について

USBケーブルを延長してUSBデバイス接続するときには、CA-U1EX(別売品)の使用を推奨します。USB規格以外のケーブルを使用した場合は動作保証できません。ケーブルの総延長が、5m以上になると正常にプレイできない場合があります。



- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

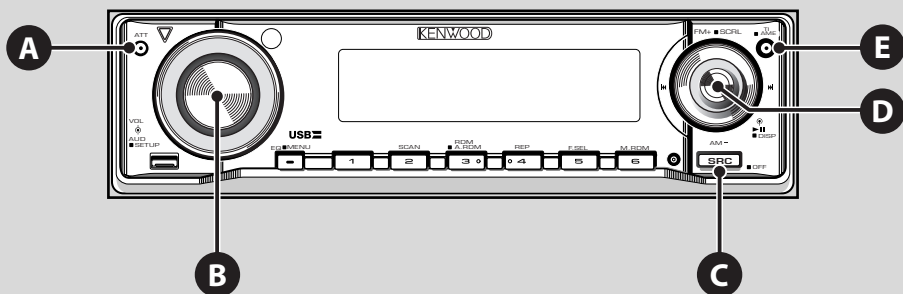
USBデバイス使用時のファイル管理について

USBデバイスを使用時は、パーティションを管理するためのフォルダが仮想的に発生します。パーティションのフォルダは、第一階層(root)の下階層に「*:*」という名称で発生し、パーティションの順番に合わせて「*」が設定されます。

パーティションを作成していない場合も「A:」フォルダが発生し、そのフォルダ内にオーディオファイルが管理されます。

Basic Operation

共通操作



C

電源をオン/オフします

ボタンを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

B

音量を調整します



A

音量を素早く下げます

ボタンを押すと、音量が小さくなります（アッテネーター）。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。



- アッテネーターの動作中には **ATT** インジケーターが点滅します。

E

交通情報を聴きます

ボタンを押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **D** を左右に動かすと、交通情報の周波数（522kHz/1620kHz/1629kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブ **B** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

時計の調整について

- 時計の時刻合わせはメニューで行います。詳しくは「時刻合わせ」（p32）をご覧ください。



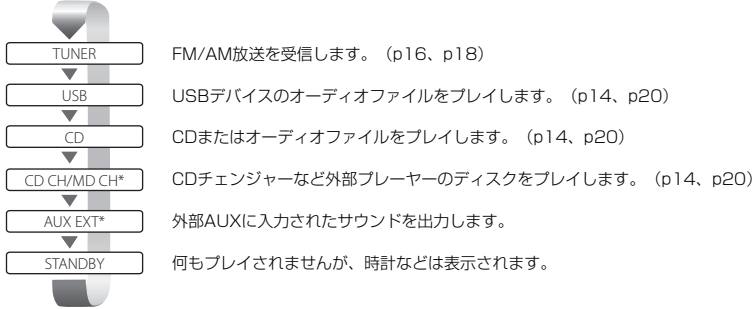
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

C

ソースを切り替えます

ボタンを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



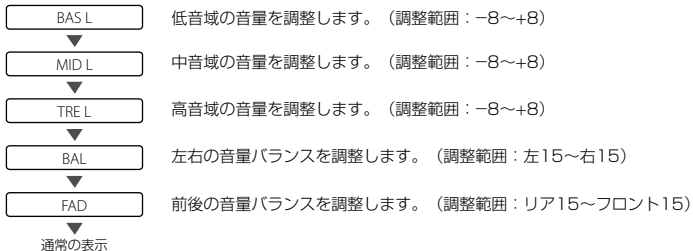
- *で示したソースは別売品です。
- CDが挿入されていないときや、CD/MDチェンジャー、外部AUXが接続されていないときは、それぞれのソースには切り替わりません。
- CDまたはオーディオファイルのディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- プレイできるオーディオファイルはMP3ファイル、WMAファイルおよびAACファイルです。これらのファイルを記録したメディアの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。
- AUX入力モード(AUX EXT)を使用するためには、別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXなどが必要です。
- 別売品のKCA-S210Aを使用するとAUX EXT表示を「AUXネーム選択」(p33)で替えることができます。

B

音質などを調整します

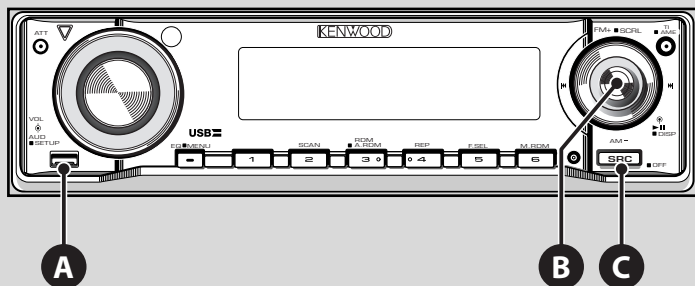
ノブを押して調整項目を選択し、次にノブを左右に回して調整します。

調整項目は次の順に切り替わります。



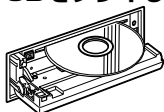
- プレイする音楽のジャンルにあった音質に簡単に設定することもできます。詳しくは「イコライザーカーブの呼び出し」(p24)をご覧ください。

CDやオーディオファイルを聴く



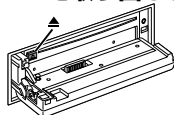
A

CDをプレイします



ボタン▲を押して操作パネルを開きます。
CD挿入口にCDを挿入すると、差し込んだCDが
プレイされます。

CDを取り出します



[▲] (イジェクト) ボタンを押します。CDが排出されます。



- CDは水平に差し込んでください。
- CDが入っているときには、[IN] インジケーターが点灯します。
- CDがすでに入っているときには、[SRC] ボタン●でCDソースに切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたCD-R/CD-RWをプレイできます。
プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。
- その他、CDやオーディオファイルのいろいろなプレイ方法については、「CD & Audio file Listening」(p20)をご覧ください。



操作パネルを開いたときにシフトレバーなどと干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

注意



- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- 操作パネルを開いたまま長時間使用しないでください。
- 操作パネルは必ず閉めてご使用ください。

C

USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします

SRC ボタン \odot でUSBソース以外に切り替えます。

USBデバイスを接続します。

SRC ボタン \odot でUSBソースに切り替えるとプレイされます。

USBデバイスを取り外します

SRC ボタン \odot を押してUSBソース以外に切り替えてから、USBデバイスを取り外します。



- USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると、「NO DEVICE」と表示されます。
- プレイをストップした後に再びプレイすると、ストップしたところからプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの内容が変わっていなければ、ストップしたところからプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類については、「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。
- その他、オーディオファイルのいろいろなプレイ方法については、「CD & Audio file Listening」(p20)をご覧ください。
- サポートされているUSBデバイスの種類や接続方法については、「USBデバイスについて」(p11)をご覧ください。
- USBデバイスのコネクタは奥まで確実に差し込んでください。
- USBデバイスは、電源オフ時でも安全に取り外せます。



USBモード中にUSBデバイスを取り外すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。

注意

B

早送り/早戻しします

コントロールノブ \odot を右に押し続けると、押ししている間、曲が早送りされます。また、コントロールノブ \odot を左に押し続けると、押ししている間、早戻しされます。



- オーディオファイルをプレイしているときは、早送り/早戻し中に音は出ません。
- AACファイルによっては、早送り/早戻しできないことがあります。

B

プレイする曲を選びます

コントロールノブ \odot を右に動かすと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブ \odot を左に動かすと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

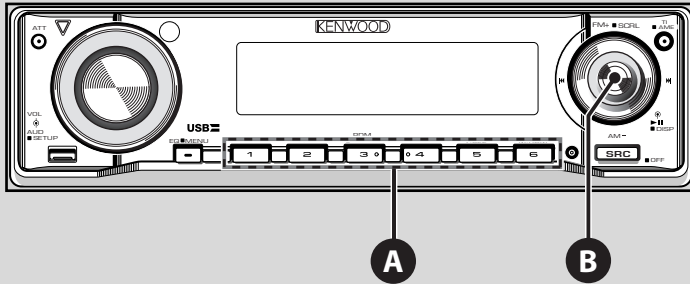
B

プレイ/ポーズします

コントロールノブ \odot を一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

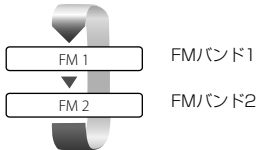
ラジオを聴く



B

バンドを切り替えます

コントロールノブ①を上動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブ①を下動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は **[ST]** インジケーターが点灯します。
- その他、ラジオのいろいろなプレイ方法については、「Radio Listening」(p18)をご覧ください。

B

放送局を選択します

コントロールノブ④を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



- チューニングモードによって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」(p19)をご覧ください。

A

プリセット局を受信します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。



- Aでのプリセットチューニングは、あらかじめ各ボタンに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p18)または「マニュアルメモリー」(p18)をご覧ください。

Radio Listening

FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

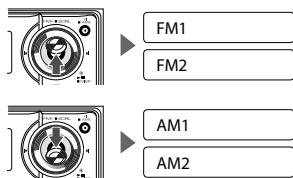


- 基本的なFM/AM放送の聴きかたは「ラジオを聴く」(p16)をご覧ください。

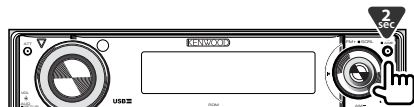
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーを開始します



“A-MEMORY”と表示されるまで押し続けます。

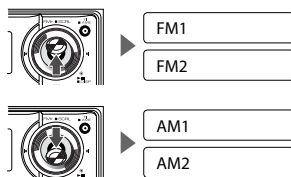


- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

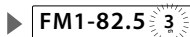
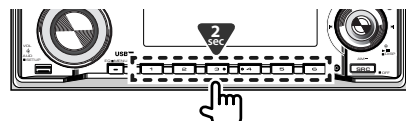
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバーが1回減表示するまで押し続けます。

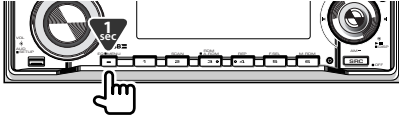


- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

チューニングモード

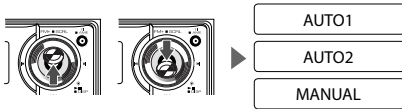
コントロールノブを左右に動かして選局するときのチューニングモードを設定します。

1 メニューモードにします



"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 チューニングモードの項目を選択します

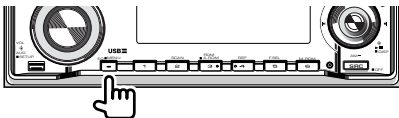


3 チューニングモードを選びます



- "AUTO1" (オート1)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。
- "AUTO2" (オート2)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
- "MANUAL" (マニュアル)
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

4 メニューモードを終了します

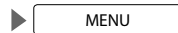
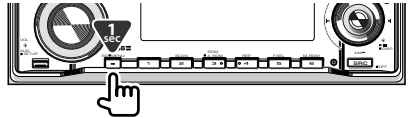


モノラルモード

(FM放送を受信中のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

1 メニューモードにします



"MENU"と表示されるまで押し続けます。

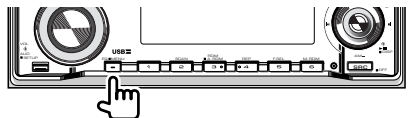
2 モノラルモードの項目を選択します



3 モノラルモードをオン/オフします



4 メニューモードを終了します



CD & Audio file Listening

CDやオーディオファイル（CD-ROM/R/RWおよびUSBデバイス）を本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。



- CDとオーディオファイルの基本的な聴きかたは「CDやオーディオファイルを聴く」（p14）をご覧ください。

ディスク/フォルダサーチ

プレイするディスクまたはフォルダを選択します。



上に動かすとに次のディスク/フォルダが選択され、下に動かすとに手前のディスク/フォルダが選択されます。

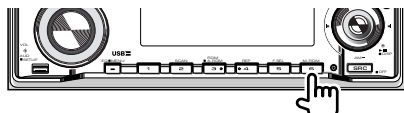


- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチは、オーディオファイルのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチの詳細については「Help? Audio file」（p34）をご覧ください。

マガジンランダムプレイ

（ディスクチェンジャーのみ）

ディスクチェンジャーにセットされているディスクをランダムな順でプレイします。



▶ MGZN RDM

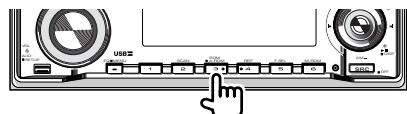
押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



- (コントロールノブ) を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

ランダムプレイ

プレイ中のCD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



DISC RDM CDプレイ中

FOLD RDM オーディオファイルプレイ中

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

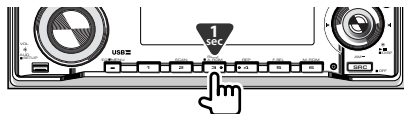


- (コントロールノブ) を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- フォルダランダムプレイは、オーディオファイルのプレイ中に使用できます。

オールランダムプレイ

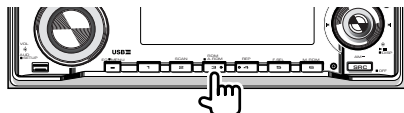
（オーディオファイルのみ）

オーディオファイルが入っているメディア内の曲をランダムな順でプレイします。



▶ ALL RDM

オールランダムプレイを中止するときは...

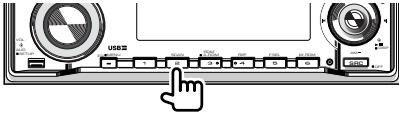


- (コントロールノブ) を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

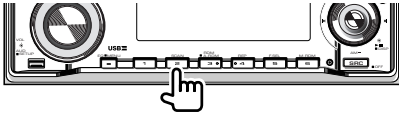
ディスクやフォルダの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



TRAC SCN	CDプレイ中
FILE SCN	オーディオファイルプレイ中

2 聴きたい曲のところ...



スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

タイトル/テキストスクロール

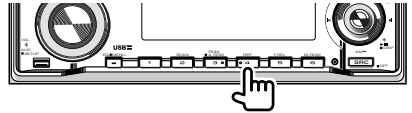
タイトル/テキストをスクロールさせます。



- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
 - ディスクタイトル/トラックタイトル
 - 曲名/アルバム名/アーティスト名/フォルダ名/ファイル名
- 「メニュー設定」(p28)で「DISP」の項目を「OFF」に設定するとスクロール中でも表示が消える場合があります。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクやフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。

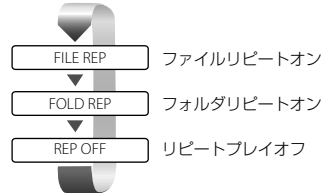


押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CD時



オーディオファイル時



ディスクチェンジャー時

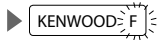
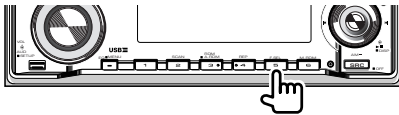


セレクトモード

(オーディオファイルメディアのみ)

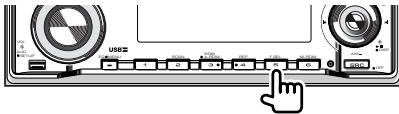
聴きたいオーディオファイルやフォルダを、ファイルナンバーを指定したり、フォルダ名を参照して選択できます。ディスクサーチやフォルダサーチとは違い、聴くファイルやフォルダを確定するまではプレイする曲が変わりません。

1 セレクトモードにします



フォルダ名が表示されます。

2 セレクトモードを選択します



押すたびに、次の順でセレクトモードが切り替わります。

FILE SEL	ファイルセレクト
▼	
FLD SEL1	フォルダセレクト1
▼	
FLD SEL2	フォルダセレクト2
▼	
通常の再生	セレクトモードオフ



- 「オールランダムプレイ」(p20) 中はセレクトモードに切り替わりません。
- 「ランダムプレイ」(p20) 中はファイルセレクトに切り替わりません。

3 ファイルまたはフォルダを選択します

詳しい操作方法は、「ファイルセレクト」(p22)、「フォルダセレクト1」(p23)、および「フォルダセレクト2」(p23)をご覧ください。



- セレクトモード中の動作例は「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。

ファイルセレクト

(オーディオファイルメディアのみ)

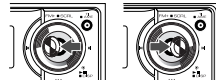
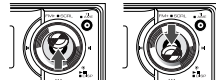
プレイ中のフォルダ内からファイルナンバーを指定して、聴きたいオーディオファイルを探します。

1 ファイルセレクトモードにします

モード変更のしかたは、「セレクトモード」(p22)をご覧ください。

フォルダ内の最初のファイルが表示されます。

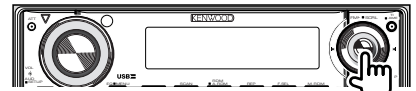
2 ファイルナンバーを入力します



操作	ファイルナンバーの増減
FM (上に動かす)	+10
AM (下に動かす)	-10
◀◀ (左に動かす)	-1
▶▶ (右に動かす)	+1

入力したファイルナンバーのファイル名が表示されます。

3 選択中のファイルをプレイします



- ファイルセレクトは、999曲までのファイルを選択できます。

フォルダセレクト1

(オーディオファイルメディアのみ)

メディアの階層を追って聴きたいフォルダを探します。オーディオファイルをジャンルやアーティスト別にフォルダ管理しているメディアを使用しているときに便利です。

1 フォルダセレクト1モードにします

モード変更のしかたは、「セレクトモード」(p22)をご覧ください。

2 フォルダを選択します

同一階層内でフォルダを選ぶときは



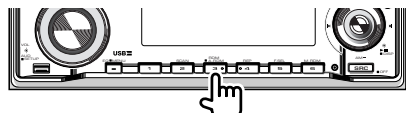
左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは

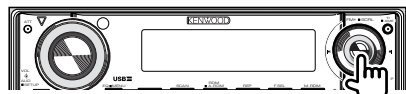


上に動かすたびに1階層下へと移動し、下に動かすたびに1階層上へと移動します。

第1階層に戻るときは



3 選択中のフォルダをプレイします



フォルダセレクト2

(オーディオファイルメディアのみ)

プレイできるオーディオファイルが保存されているフォルダのみを探して順番に表示します。

1 フォルダセレクト2モードにします

モード変更のしかたは、「セレクトモード」(p22)をご覧ください。

2 フォルダを選択します



左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

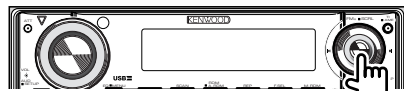
表示中のフォルダが入っているフォルダ名を確認するには...



上に動かすたびに、1階層上のフォルダ名を表示します。上の階層のフォルダ名を表示しているときは「*」が表示されます。

下に動かすと、表示が1階層戻ります。

3 選択中のフォルダをプレイします



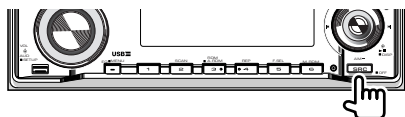
- 上階層のフォルダ名を表示している場合でも、プレイされるのは現在選択中のフォルダ（「*」が表示されていない名称のフォルダ）です。

Audio Control

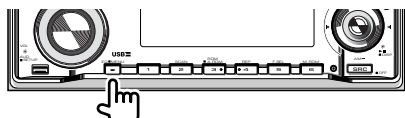
イコライザーやスピーカー設定などの音響効果を設定します。

イコライザーカーブの呼び出し

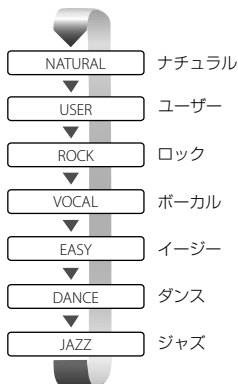
1 設定したいソースにします



2 イコライザーカーブを呼び出します



押すたびに、次の順に切り替わります。

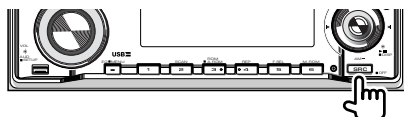


- イコライザーカーブは、ソースごとに設定できます。
- イコライザーカーブの設定値は、「スピーカー設定」(p24)の設定により変わります。先に「スピーカー設定」の設定を行ってください。
- “USER”は「音質などを調整します」(p13)で設定した値です。イコライザーの設定を変えると設定した値は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。
- イコライザーカーブの設定を変えると「音質などを調整します」で調整した値(“BAS L”、“MID L”および“TRE L”)は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。

スピーカー設定

イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

1 STANDBYモードにします

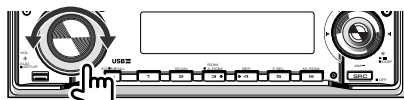


“STANDBY”表示を選択します。

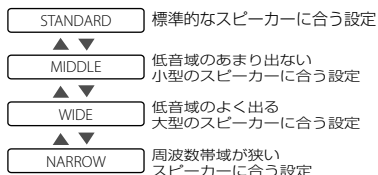
2 スピーカーマッチングモードにします



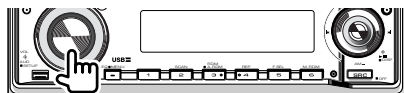
3 スピーカーを選択します



回すたびに、次の順に切り替わります。



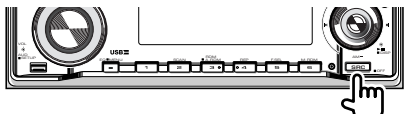
4 スピーカーマッチングモードを終了します



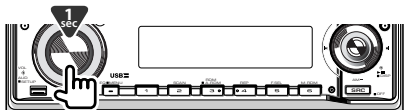
オーディオセットアップ

音量オフセットやラウドネスを設定します。

1 設定したいソースにします



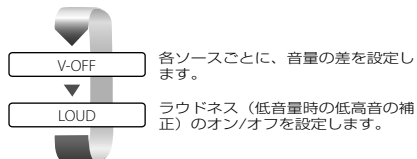
2 オーディオセットアップを開始します



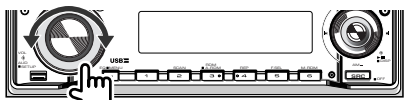
3 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。



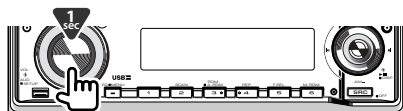
4 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
V-OFF	-8 ~ 0
LOUD	OFF/ON

5 オーディオセットアップを終了します



元のソースの表示になるまで押し続けます。



- “V-OFF”でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。

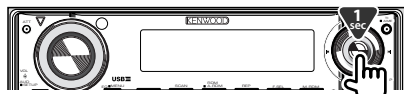
Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイ表示切り替えを開始します



"DISP SEL" と表示されるまで押し続けます。

2 表示を選択します



押すたびに、次の順に切り替わります。

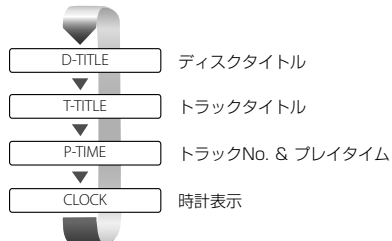
STANDBY/AUX入力時



FM/AM受信、交通情報受信時



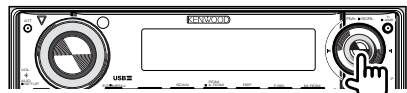
CD/ディスクチェンジャープレイ時



オーディオファイルプレイ時



3 ディスプレイ表示切り替えを終了します

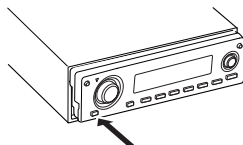



- ディスクタイトル、トラックタイトル、曲名、アルバム名が登録されていないとプレイタイムが表示されます。
- 本機で表示できる文字はA-Z 0-9 @ " ` ' % & * + = , . / \ < > [] () ; ^ - { } | ~ です。
- オーディオファイルのファイルナンバーが1000以上の場合は、下3桁のみが表示されます。

パネルの取り外し

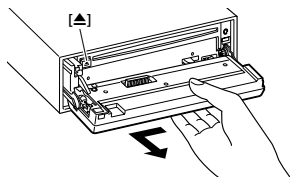
操作パネルを取り外します。

1 操作パネルを開きます



 ボタンを押して操作パネルを開きます。

2 操作パネルを取り外します



パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

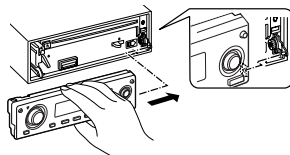


- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI（セキュリティインジケータ）機能を採用しています。「メニュー設定」（p28）の「DSI」項目を“ON”にしておくとパネルを取り外したときに、[▲]（イジェクト）ボタンのLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

パネルの取り付け

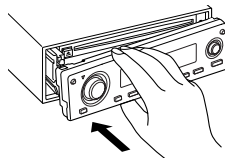
操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます



パネル左側を本体に合わせてロックします。パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

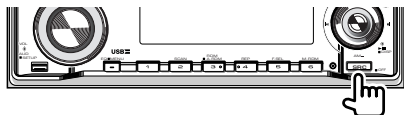
Menu

各種の機能を設定します。

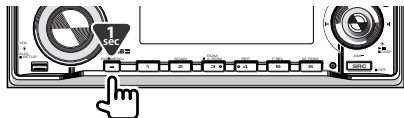
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます



2 メニューモードにします



"MENU"と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を表示します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します



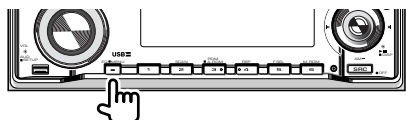
- ページ番号が記載されている項目の設定方法は、それぞれのページをご覧ください。

表示	設定	設定概要	ソース
CODE SET/CLR	p30参照	セキュリティコードの設定と解除をします。	SB
BEEP	ON*/OFF	操作音の有無を設定します。	SB
CLK ADJ	p32参照	時刻を設定します。	SB
DSI	ON*/OFF	盗難防止用警告LEDを設定します。	SB
DISP	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
DIM	ON*/OFF	オートディマーを設定します。	SB
AUTO1/ AUTO2/ MANUAL	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL	放送局の選択方法を設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON	モノラル音声で受信します。	FM
NAME SET	p33参照	AUXソースに名前を付けます。	Aux
SCL	AUTO*/ MANU	テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	
GUID	OFF*/ATT	接続されているナビの音声ガイド時のミュート設定をします。	SB
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	SB
F/W VER	—	CDドライブのファームウェアバージョンを表示します。	CD USB

* お買い上げ時の設定状態を示します。

- SB**: スタンバイ中に設定できます。
- Tuner**: Tunerソース中に設定できます。
- FM**: FMを受信中に設定できます。
- Aux**: Auxソース中に設定できます。
- CD** **USB**: CD、USBソース中に設定できます。

5 メニューモードを終了します



- 各項目の詳細については、「Help? Term」(p40)をご覧ください。
- セキュリティコードが設定されているときは、「CODE SET」(設定)のかわりに「CODE CLR」(解除)が表示されます。

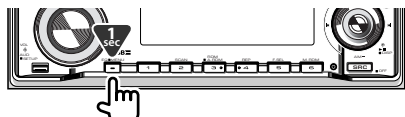
セキュリティコードの設定

暗証番号を設定して、盗難を抑制します。



- 設定したセキュリティコードの変更・解除には、セキュリティコードが必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。

1 メニューモードにします

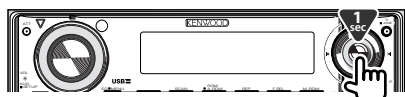


"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 セキュリティコードセットを表示します



3 セキュリティコードセットを開始します



"ENTER"と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

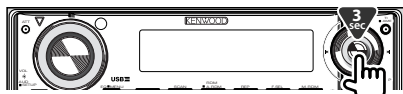
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



5 決定します

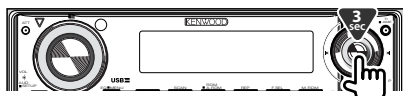


"RE-ENTER"と表示されるまで押し続けます。

6 もう一度入力します

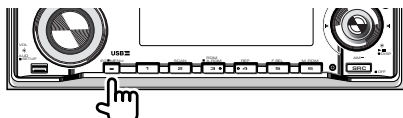
手順4と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

7 決定します



"APPROVED"と表示されるまで押し続けます。

8 セキュリティコードセットを終了します



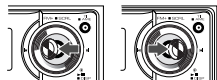
- 手順6で入力したセキュリティコードが手順4で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順4からやりなおすこととなります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」(p31)をご覧ください。

セキュリティコードの入力

セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには、電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



2 決定します



▶ APPROVED

"APPROVED"と表示されるまで押し続けます。

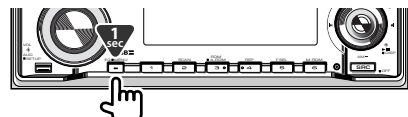


- 入力したセキュリティコードがまちがっていると電源がオフになります。このようなときは、**[SRC]** ボタンを押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にDSI（セキュリティインジケータ）機能を採用しています。「メニュー設定」（p28）の「DSI」項目を「ON」にしておくとパネルを取り外したときに、**[▲]**（イジェクト）ボタンのLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

1 メニューモードにします



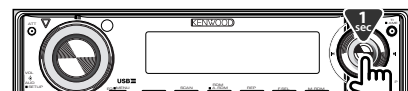
▶ MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 セキュリティコードクリアを表示します



3 セキュリティコードクリアを開始します



▶ ENTER ▶ CODE----

"ENTER"と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

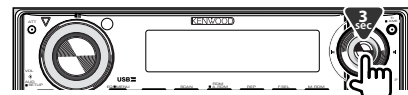
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



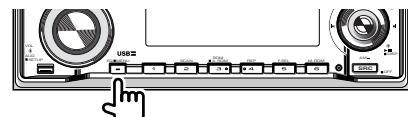
5 決定します



▶ CLEAR

"CLEAR"と表示されるまで押し続けます

6 セキュリティコードクリアを終了します

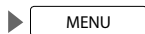
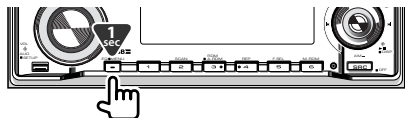


- 入力したセキュリティコードがまちがっていると"ERROR"と表示されます。再度手順4からの操作を行って正しいコードを入力してください。

時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 メニューモードにします

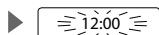
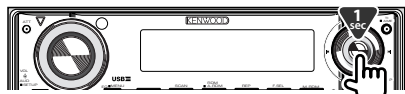


"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 時刻合わせを表示します



3 時刻合わせを開始します



時計表示になるまで押し続けます。

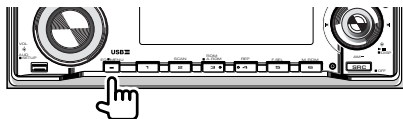
4 "時" を調整します



5 "分" を調整します



6 時刻合わせを終了します

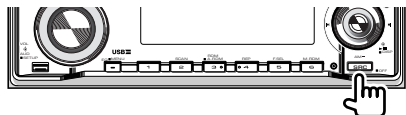


- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p28)をご覧ください。
- "分"を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

AUXネーム選択

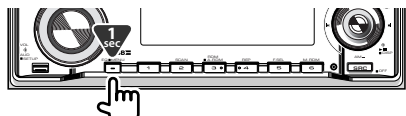
ソースを外部AUXに切り替えたときに表示される名前（AUXネーム）を設定します。

1 AUXソースに切り替えます



AUX EXT

2 メニューモードにします



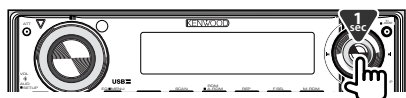
MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

3 ネームプリセットの項目を表示させます

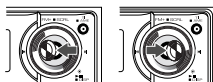


4 AUXネーム選択を開始します

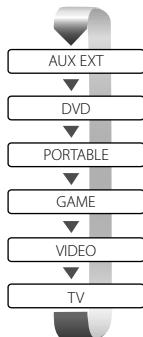


現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

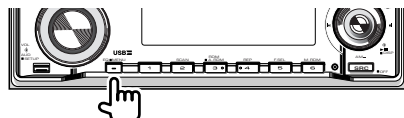
5 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。



6 AUXネーム選択を終了します



- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。
- AUXネームを付けられるのは、別売品のKCA-S210Aを使用した外部AUXのみです。

オーディオファイル

本機はオーディオファイル(MP3/WMA/AAC)をプレイできます。プレイできるオーディオファイルを記録したメディアやフォーマットに関して制限があります。オーディオファイルを書き込むときには、下記の点にご注意ください。

また、本機に表示できる文字の制限があります。下記をご参照ください。なお、記載されている文字数は、いずれも1バイト文字換算時の値です。

プレイできるオーディオファイル

本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3、WMA、およびAACファイルです。



- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。
- エンコードソフトの設定や環境によっては再生や表示ができない場合があります。
- 圧縮フォーマットがバージョンアップされたファイルや、仕様追加されたファイルは再生できない場合があります。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSP Layer 3規格のもです。

- サンプリング周波数
: 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート : 8~320 (kbps)

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数 : 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート : 48~192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL : http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

プレイできるAACフォーマット

本機でプレイできるAACファイルは、拡張子が“.M4A”のAAC-LCフォーマットのもです。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL : <http://www.kenwood.mediamanager.jp>

使用できるストレージ/メディア

使用できるストレージやメディアは、USBデバイス、CD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。本機では、CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

また、使用できるUSBデバイスの詳細については、「使用できるUSBデバイス」(p11)を参照してください。

使用できるCD-R/RWのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

なお、ファイル名/フォルダ名は128文字まで表示が可能です。(区切り文字“.”と拡張子3文字を含みます)

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 4096
- 最大フォルダ数 : 100

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。



- USBデバイスの使用できるフォーマットについては、URL : <http://www.kenwood.com/usb/>をご覧ください。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

オーディオファイル（オーディオファイル）には、おのおの“.MP3”、“.WMA”、または“.M4A”の拡張子を付けてください。これらの拡張子が付いていないファイルはプレイできません。



禁止

- オーディオファイル以外のファイルに上記の拡張子を付けないでください。これらの拡張子を付けると、本機がオーディオファイルと誤認識してプレイしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

オーディオファイルの曲情報表示について

本機で表示できる曲情報は、曲名、アーティスト名およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字です。

- MP3 ID3 Tagは、v1.0/1.1/2.3規格で記録された曲情報を30文字まで表示します。
- WMAコンテンツプロパティは30文字まで表示します。
- AACの曲情報は60文字まで表示します。



- AAC ID3 Tagは表示できません。
- USBデバイスの使用できるフォーマットについては、URL：<http://www.kenwood.com/usb/>をご覧ください。

USBデバイス/CDメディアに書き込むファイルについて

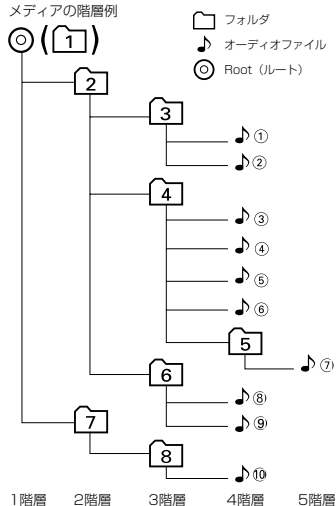
オーディオファイルが収録されているUSBデバイス/CDメディアを挿入すると、最初にUSBデバイス/CDメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするUSBデバイス/CDメディアに多くのフォルダやオーディオファイル以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のオーディオファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイル検索やフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番

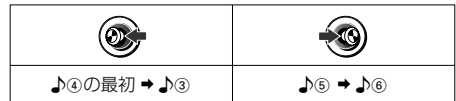
プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、メディアに書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

PCの使用環境にもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してから、CD-R/RWなどに書き込む、またはUSBデバイスにフォルダ単位でコピーすることでプレイする順番を設定できることがあります。

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。



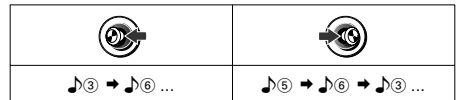
♪④再生中にファイルサーチを行うと...



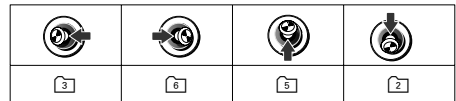
♪④再生中にフォルダサーチを行うと...



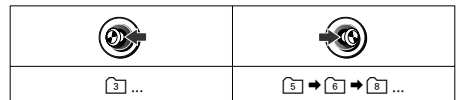
♪④再生中にファイルセレクトを行うと...



♪④再生中にフォルダセレクト1を行うと...



♪④再生中にフォルダセレクト2を行うと...



音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

共通

? 電源がオンにならない

- ✓ ヒューズが切れている。
- ✖ コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

- ✓ 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- ✖ 「接続」(p46)を参照して正しく接続し直してください。

- ✓ セキュリティコードが設定されている。
- ✖ 設定したセキュリティコードを入力してください(p31)。

? 音が出ない/音が小さい

- ✓ フェダー、バランスが片方に寄っている。
- ✖ フェダーやバランスを正しく調整してください。

- ✓ 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
- ✖ 「接続」(p46)を参照して正しく接続し直してください。

? 操作ボタンを押しても動作しない

- ✓ 操作ボタンを押しても動作しない。
- ✖ リセットボタンを押してください(p8)。

? 音質が悪い(音がひずむ)

- ✓ 音量が大きすぎる。
- ✖ 音量を適正に調整してください。

- ✓ スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- ✖ スピーカーの配線を確認してください。

- ✓ スピーカーの配線が間違っている。
- ✖ スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

? チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ✖ アンテナを十分に伸ばしてください。

- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ✖ 「接続」(p46)を参照して正しく接続し直してください。

- ✓ アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- ✖ アンテナ入力を確実に接続してください。

? タイトル/テキスト表示がスクロール途中で消える

- ✓ メニュー設定の“DISP”項目をオフに設定している。
- ✖ 「Help? Term」の“DISP”項目(p41)を参照して、「メニュー設定」(p28)の“DISP”項目を設定してください。

? SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- ✓ それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- ✖ 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(p46)を見て正しく接続してください。

- ✓ 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- ✖ リセットボタンを押してください(p8)。

- ✓ 別売品ユニットの“O-N”スイッチを“O”側にしている。
- ✖ “O-N”スイッチは“N”側に設定してください。

- ✓ 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- ✖ 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください(p8)。

ミュージックディスク

? SRCボタンを押してもディスクがプレイできない

- ✓ ディスクが入っていない。
- ✖ プレイするディスクを入れてください。

? ディスクが入らない

- ✓ すでにディスクが入っている。
- ✖ 入っているディスクを取り出してから入れてください。

? ディスクのプレイ中に振動で音が切れる

- ✓ 取り付け角度が30°を超えている。
- ✖ 30°以下になるように取り付けし直してください。
- ✓ 取り付けが不安定になっている。
- ✖ しっかりと取り付けし直してください。なお、駐車車中でも音飛びする場合は、曲の同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

? CDやオーディオファイルをプレイできない

- ✓ ディスクが裏返しになっている。
- ➡ レーベル面を上にして入れ直してください。
- ✓ ディスクが異常に汚れている。
- ➡ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- ✓ 結露している。
- ➡ しばらく放置してから使用してください(p9)。
- ✓ ディスクが内部的に検出されていない。
- ➡ リセットボタンを押してディスクを取り出しから、再度ディスクを挿入してください(p8)。

? 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ➡ ランダムプレイをオフにしてください(p20)。

? 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- ✓ トラックリピートがオンになっている。
- ➡ トラックリピートをオフにしてください(p21)。

? 曲の先頭しかプレイされない

- ✓ スキャンプレイがオンになっている。
- ➡ スキャンプレイをオフにしてください(p21)。

? ディスクチェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

- ✓ ディスクリピートプレイがオンになっている。
- ➡ ディスクリピートプレイをオフにしてください(p21)。

? 曲が順にプレイされない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ➡ ランダムプレイをオフにしてください(p20)。

? ディスクが順に演奏されない

- ✓ マガジンランダムプレイがオンになっている。
- ➡ マガジンランダムプレイをオフにしてください(p20)。

? STANDBYにするとCDやオーディオファイルがディスクの先頭へ戻る

- ✓ ファンクション設定の“CD READ”項目を変更した。
- ➡ “CD READ”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。

? CD-R、CD-RWがプレイできない

- ✓ ファイナライズ処理を行っていない。
- ➡ CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- ✓ CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。
- ➡ CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

? リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

- ✓ ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。
- ➡ 各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

? ダイレクトディスクサーチができない

- ✓ ディスクが1枚しか入っていない。
- ➡ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

? マガジンランダムプレイができない

- ✓ ディスクが1枚しか入っていない。
- ➡ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

? トラックサーチできない

- ✓ ディスクチェンジャー内でディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。
- ➡ ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

? ディスクを取り出せない

- ✓ 車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。
- ➡ ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてから[▲] (イジェクト) ボタンを押してください。

- ✓ ディスクがイジェクト途中で止まっている。
- ➡ [▲] (イジェクト) ボタンをディスクがイジェクトするまで押し続けてください。

? CDテキストが表示されない

- ✓ 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで“O-N”スイッチがない。
- ➡ 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。

- ✓ 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- ➡ ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

オーディオファイル

? オーディオファイルがプレイできない

- ✓ オーディオファイルが本機で再生できる記録方式で記録されていない。
- ➡ 「Help? Audio file」 (p34) を見て、本機で再生できる方式で記録しなおしてください。

- ✓ オーディオファイルに拡張子が付いてない。
- ➡ MP3ファイルには“.MP3”、WMAファイルには“.WMA”、AACファイルには“.M4A”を付けてください。

- ✓ メニュー設定の“CD READ”項目を“2”に設定している。
- ➡ 「メニュー設定」 (p28) を見て、“CD READ”項目を“1”に設定してください。

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「メディアの取り扱い」 (p10) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「メディアの取り扱い」 (p10) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルのディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

- ✓ オーディオファイル以外のファイルに“.MP3”/“.WMA”/“.M4A”拡張子が付いている。
- ➡ オーディオファイル以外のファイルに付いている“.MP3”/“.WMA”/“.M4A”拡張子を消去してください。

? フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ✓ ISO9660 level1/2、Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ➡ ISO9660 level1/2、Joliet、またはRomeo (p34) に準拠したディスクを使用してください。

- ✓ ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
- ➡ ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ➡ —

? オーディオファイルのディスクをプレイするまで時間がかかる

- ✓ ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。
- 最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

? オーディオファイルが順番どおりにプレイされない

- ✓ プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。
- ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

- ✓ USBデバイスのフォルダ内にオーディオファイルを追加でコピーしたため。
- USBデバイスはコピーした順番に再生します。PCの環境により異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してからフォルダ単位でコピーすることで順番を設定できる場合もあります。

? MP3 ID3 Tag情報が正しく表示されない (MP3ファイル)

- ✓ MP3 ID3 tagがv1.0/1.1/2.3に準拠して記録されていない。
- MP3 ID3 tagをv1.0/1.1/2.3に準拠して記録してください。

? CD-RWに記録したオーディオファイルがプレイされない

- ✓ CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。
- CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

AUXネームセット

? 設定したはずのAUXネームが“AUX EXT”に戻る

- ✓ 本機をバッテリーから外したため。
- 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX EXT”に戻ります。

USBデバイス

? USBデバイスを認識しない

- ✓ USBコネクタが抜けている。
- USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

? USBデバイスのオーディオファイルの音が出なくなった

- ✓ USBコネクタが抜けている。
- USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

Menu

? セキュリティコード項目が表示されない

- ✓ すでにセキュリティコードを設定してある。
- セキュリティコードを一度設定すると“CODE SET”は“CODE CLR”に変わります。

? セキュリティコードを忘れた

- ✓ セキュリティコードを調べることはできません。
- ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。

また、詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL : <http://www.kenwood.mediamanager.jp>

MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」(p34)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)やマルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

オーディオコントロール

V-OFF (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。

これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

Menu

AUTO/MANUAL (チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1: 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

AUTO 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL: 1ステップずつ周波数が変わります。

BEEP (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピツ”音がする機能です。押しすぎ離れたときには“ピツ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオンにしたときには“ピツピツ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビーブ音はブリアウトからは出力されません。

CD READ (CDリード)

CDの読み込み方法を設定します。

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1: ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。

2: 音楽CDとして強制的にプレイします。

CLK ADJ (クロックアジャストメント)

本機内蔵の時計の時刻を合わせます。

CODE SET (コードセット) / CODE CLR (コードクリア)

セキュリティコードを設定/解除します。
セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

DIM (ディマー)

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

DISP

本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

DSI (ディセーブルシステムインジケータ)

セキュリティインジケータをオン/オフします。
この機能をオンにしておくと、パネルを外したときに、**[▲]** (イジェクト) ボタンのLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

F/W VER (CDドライブファームウェアバージョン)

ドライブユニットのファームウェアのバージョンを表示します。

GUID (ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

OFF：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力しません。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

NAME SET (ネームセット)

AUXモードでAUXソースの名前を変更できます (AUXネーム)。

SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を「AUTO」に設定しておくともスクロール表示を繰り返し行い、「MANU」に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。
- ディスクチェンジャーにトレイが入っていません。
- ディスクチェンジャーにディスクが入っていません。

E-05 :

ディスクが裏返しです。

READ ERR :

- 接続しているUSBデバイスに、制限されている数を超えるファイルやフォルダが記録されている。
- 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。
- ➡ URL : <http://www.kenwood.com/usb/>をご覧ください。USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

EJECT :

- ディスクマガジンがセットされていません。
- ディスクマガジンが完全に入っていません。
など

NO DISC :

ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

NA FILE :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとしてしました。

COPY PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

CODE ---- :

セキュリティコードの入力要求です。

E-77 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➡ 本機のリセットボタンを押してください。“E-77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD :

ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➡ ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてください。


インジケーターが点滅 :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

- ➡ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

E-99

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➡  (イジェクト) ボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

LOAD (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

READING (点滅) :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

PROTECT (点滅) :

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。

- ➡ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。

NO DEVICE :

USBソース時にUSBデバイスが接続されていないことを通知しています。

- ➡ USBソース以外のソースにした後、USBデバイスを接続し、再びUSBソースに切り替えてください。

NA DEVICE :

サポートされていないUSBデバイスが接続されています。

- ➡ サポートされているUSBデバイスについては「USBデバイスについて」(p111)を参照してください。

NO MUSIC/E-15 :

挿入したCDまたは接続したUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB ERR :

- 供給できる電流容量を超えたUSBデバイスが接続されています。
- ➡ サポートされているUSBデバイスについては「USBデバイスについて」(p111)を参照してください。
- 接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。
- ➡ USBデバイスを取り外し、接続しなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

取り付け時のご注意

警告



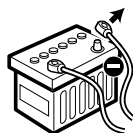
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



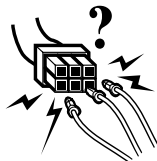
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



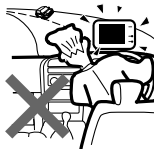
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



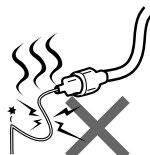
禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

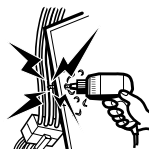
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意

車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

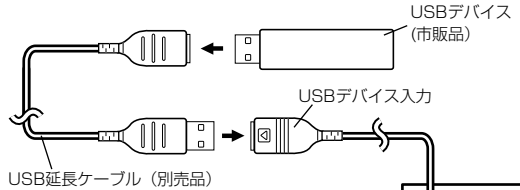
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。



注意

USBケーブルを接続しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。



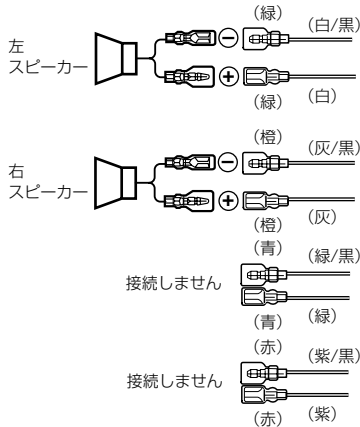
USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX（別売品）の使用を推奨します。詳しくは「USBデバイスについて」(p11)をご覧ください。



注意

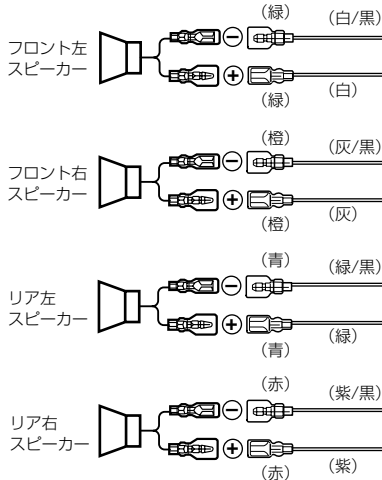
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処置を行ってください。



注意

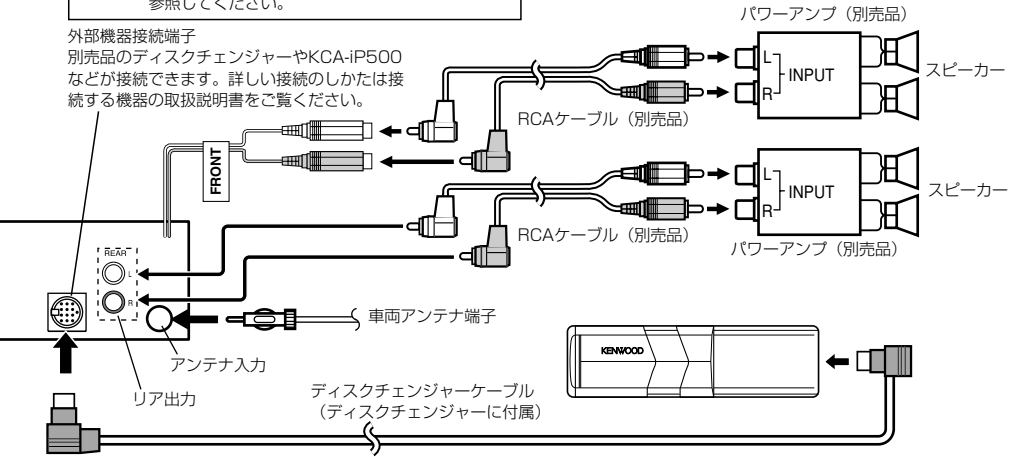
- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



- 別売品のディスクチェンジャーに“O-N”スイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

外部機器接続端子

別売品のディスクチェンジャーやKCA-IP500などが接続できます。詳しい接続のしかたは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



アンテナコントロール (青)

ANT CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール (青/白)

P.CONT

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ミュート入力 (茶)

MUTE

ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。



注意

ミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(p28)を見て、“GUID”項目を“OFF”に設定してください。

イルミネーション (橙/白)

ILLUMI

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

アクセサリ電源 (赤) ⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

ACC

バッテリー電源 (黄) ⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

BATT

アース (黒) ⊖
車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部) へ接続してください。

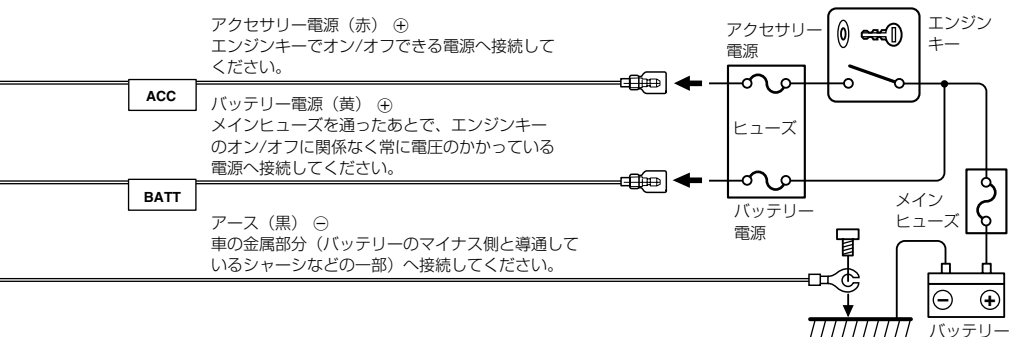
アクセサリ電源 エンジンキー

ヒューズ

バッテリー電源




メインヒューズ

バッテリー



取り付け

付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5×6mm)	4
 サラネジ (M5×7mm)	4
 セムスネジ (M4×8mm)	1

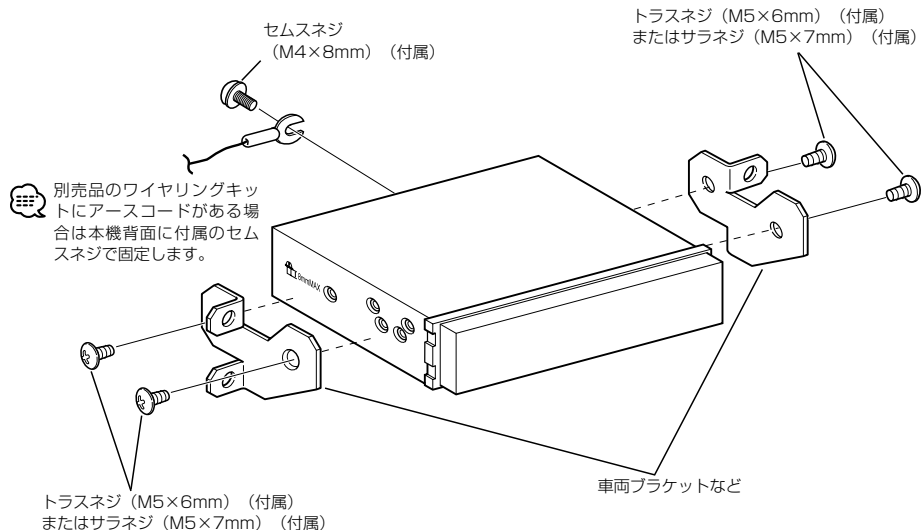
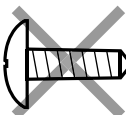
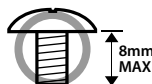


注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

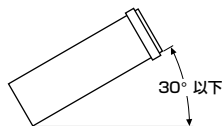
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
 - : 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
- 実用感度 (S/N : 30 dB)
 - : 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
- S/N 50 dB感度
 - : 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
- 周波数特性 (± 3.0 dB)
 - : 30 Hz~15 kHz
- S/N比
 - : 70 dB (MONO)
- 選択度 (± 400 kHz)
 - : 80 dB以上
- ステレオセパレーション
 - : 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
 - : 522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
- 感度
 - : 28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

- レーザーダイオード
 - : GaAlAs
- デジタルフィルター (D/A)
 - : 8倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター
 - : 1Bit
- 回転数
 - : 1000~400 rpm (線速度一定・倍速)
- ワウ& フラッター
 - : 測定限界以下
- 周波数特性
 - : 10 Hz~20 kHz (± 1 dB)
- 高調波歪率
 - : 0.008 % (1 kHz)
- S/N比
 - : 110 dB (1 kHz)
- ダイナミックレンジ
 - : 93 dB
- MP3デコード
 - : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
- WMAデコード
 - : Windows Media™ Audio 準拠
- AACデコード
 - : AAC-LC “.m4a” ファイル

オーディオ部**最大出力**

: 50 W × 4

定格出力

: 30 W × 4 (4Ω、1kHz、10%THD以下)

スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

オーディオコントロール

パス : 100 Hz ± 8 dB

ミドル : 1 kHz ± 8 dB

トレブル : 10 kHz ± 8 dB

プリアウトレベル (CD/CD-CH)

: 2000 mV/10 kΩ

プリアウトインピーダンス

: 600Ω以下

USB I/F部**USB規格**

: USB 1.1/2.0

最大供給電流

: 500 mA

ファイルシステム

: FAT16/32

MP3デコード

: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード

: Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード

: AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

電源部**電源電圧**

: 14.4 V (11~16 V)

最大消費電流

: 10 A

寸法・質量**埋込寸法 (W × H × D)**

: 178 × 50 × 160 mm

質量 (重さ)

: 1.4 kg

付属部品**電源ハーネス**

: 1本

トラスネジ (M5 × 6 mm)

: 4本

サラネジ (M5 × 7 mm)

: 4本

セムスネジ (M4 × 8 mm)

: 1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX 045-933-5553
住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。